

表紙イラスト掲載種名

植物上から

- ・ユキノシタ
- ・ミズナラ
- ・ゴキツル
- ・ベニドウダン
- ・カンアオイ
- ・ヒメコウホネ（裏表紙にも掲載）

動物上から

- ・カジカ小卵型
- ・ニホンアマガエル
- ・カスミサンショウウオ（裏表紙には幼生が掲載）
- ・コサギ
- ・カワニナ
- ・アオハダトンボ
- ・オイカワ（オス）
- ・オイカワ（メス）
- ・カヤネズミ
- ・ギフチョウ
- ・ニホンイシガメ

はじめに



岐阜市は、長良川や金華山に代表される豊かな自然を有し、それにより、農産物、水産物、飲料水などその恵みを楽しむことにより、長良川鵜飼など、市民の暮らしや文化、産業を育んできました。

このように私たち人間は、生物多様性（生きものたちの豊かな個性とつながり）の中で生きています。

私たちの暮らしや文化がこれからも持続可能であるためには、この生物多様性をしっかり守っていかなければなりません。

近年、地球温暖化の進展などにより私たち人間を含む動植物を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。

これからの私たちは、こうした地球規模での環境問題に、基礎自治体としてもしっかり取り組んでいかなければならない時代を迎えています。

岐阜市は、2002（平成 14）年の環境都市宣言以降、「岐阜市環境基本条例」や「岐阜市自然環境の保全に関する条例」の制定、「岐阜市環境基本計画」や「岐阜市地球温暖化対策実行計画」の策定、「岐阜市自然環境基礎調査」、「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」の公表など、人と自然が共生する社会を目指して積極的に取り組んでまいりました。

これらの取組を着実に進めるために、岐阜市自然環境保全推進委員会に意見を求めて、生物多様性の保全と持続的な利活用のための基本的な計画として「岐阜市生物多様性プラン」を策定いたしました。

今後は、この「岐阜市生物多様性プラン」に基づき、長良川や金華山に代表される私たちの心の原風景を未来へつなぐため、引き続き取組を推し進めてまいります。

最後に、このプランの策定にあたり、ご尽力をいただきました委員会の皆様をはじめ、生物多様性シンポジウムなどを通じて貴重なご意見をお寄せいただきました多くの市民の皆様や関係者各位に心から感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月

岐阜市長 細江 茂光

目次

「岐阜市生物多様性プラン」策定にあたって	1
第1章 背景と基本的事項	2
1 生物多様性プラン策定の必要性	2
2 生物多様性プラン策定の背景	3
3 生物多様性プランの位置づけ・法律、条例と関連計画との位置づけ	7
4 生物多様性プランの対象とする区域	7
5 生物多様性プランの計画期間	7
第2章 岐阜市における生物多様性の現状と課題	8
1 市域の概要	8
2 岐阜市の動植物	9
3 生物多様性の現状	12
4 生物多様性についての課題	27
第3章 生物多様性プランが目指すもの	29
1 目指すべき将来の岐阜市の姿	29
2 基本方針	31
3 生物多様性を保全する取組	33
第4章 推進体制	50
1 推進体制	50
2 進捗管理	50
資料編	51
1 市域の概要	52
2 生物多様性プラン策定までの経緯	62
3 市民意識調査	65
4 岐阜市自然環境の保全に関する条例	68
5 里地里山	70
6 愛知目標	71
7 コラム執筆者	72
8 岐阜市自然環境保全推進委員会	73
9 庁内外外部局による検討	77

「岐阜市生物多様性プラン」策定にあたって

岐阜市の豊かな自然を守り、次代へつなげていくためには岐阜市の自然環境の現状を正しく知ること、市民が当事者として考え、暮らしに生かしていくことが大切です。

そのため、2009（平成 21）年度より 5 ヶ年をかけて岐阜市では自然環境基礎調査を行い、5,400 種もの多様な生きものを確認しました。その調査結果をもとに岐阜市での絶滅の危険性について指摘するレッドリスト、貴重な生態系を乱すことが懸念される外来生物のブルーリストを取りまとめ「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」として 2015（平成 27）年に公表しました。

そしてこのたび、目指すべき将来の岐阜市の生物多様性の姿を示し、自然と私たちの暮らしの良好な関係を維持するための“道しるべ”となる「岐阜市生物多様性プラン」を策定することになりました。

しかし、このプランの策定は、その入り口にしかすぎません。このプランに命を吹き込み、私たち岐阜市民が、恵まれた自然環境とともに暮らす支えとなるよう育てていく必要があります。

また、「岐阜市生物多様性プラン」の策定は、先の 5 ヶ年にわたる自然環境基礎調査や「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト 2015」の策定過程とともに歩んできました。その間、一貫して進められてきたことがあります。「調査結果や検討の過程を市民の皆さんと共有し、内容を知ってもらい、市民生活に生かしてもらおう」という取組です。自然環境基礎調査に関わった調査員の皆さんの 165 編にも及ぶ岐阜新聞へのコラムの掲載や「平成 26 年度岐阜市生物多様性シンポジウム（3 回開催）」でのレッドリスト・ブルーリスト策定過程の公開、「平成 27 年度岐阜市生物多様性シンポジウム（2 回開催）」など、調査結果や検討過程を市民の皆さんと共有し、そのなかで多くの貴重なご意見をいただくことができました。

そこに関わられた多くの学識者、有識者、ボランティアの皆さん、情報やご意見をいただいた市民の皆さんなど多くの方々の支えや協力の成果として「岐阜市生物多様性プラン」としてとりまとめることができました。

多くの方々のご尽力に感謝し、岐阜市が「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」として、豊かな暮らしを次代へつないでいけることを祈念します。

平成 28 年 3 月

岐阜市自然環境保全推進委員会

委員長 野村 典博